

スポーツや芸術、ボランティア活動などさまざまな分野で活躍する人たちが、市長への表敬訪問のため市役所を訪れています。輝かしい功績や寄贈された作品などを、表敬の様子とともに紹介します。

子どもたちへ水の教を40年 公認スポーツ指導者等表彰

12/20



本市水泳協会理事長の萬久一美さんが、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰を受けたことを二場公人市長へ報告しました。これは、長年にわたるスポーツでの指導育成などの功績が認められたもの。萬久さんは「今後も田川の子どもたちに水の楽しさと怖さを伝えていきたい」と語りました。

市民の健康増進を願って 田川信用金庫「信友会」が寄付

1/28



田川信用金庫の外郭団体である「信友会(原正直会長)」の中藤保弘常務理事が市役所を訪問。市の福祉に役立ててほしいと同会からの寄付金を二場市長に手渡しました。二場市長は、謝辞とともに今後の健康増進施策などを説明。中藤常務理事は「市民の健康増進に寄与できれば嬉しい」と話しました。

繊細な技術が光る木の芸術 工芸作品で全国高等学校総合文化祭へ推薦

2/3



田川科学技術高校2年生の木村颯汰さんと竹田有吾さんの合同工芸作品「木のファンタジー」が、7月31日～8月6日に高知県で開催される全国高等学校総合文化祭へ推薦されました。同校の作品が全国大会に推薦されるのは12回目。2人は「作品だけでなく田川のこと全国にPRしたい」と抱負を語りました。

15年の経験を今後もいかしたい 退任人権擁護委員に法務大臣感謝状

1/20



15年の長きにわたって人権擁護委員を務めた、左から星野とも子さん、吉武精穂さんが退任。さまざまな人権問題と向き合い、地域における相談対応や啓発活動に尽力してきた功績が評価され、法務大臣から感謝状が贈呈されました。2人は「市民として、これからも経験をいかしたい」と声を揃えました。

備えあれば憂いなし 田川ライオンズクラブがAEDを寄贈

1/31



田川ライオンズクラブが、昨年9月に田川文化センターで開催した「ドラム・タオ公演会」の収益金からAEDを購入し、本市へ寄贈しました。既存のAEDが更新時期を迎える市立図書館へ配備します。山内民憲会長は「持ち運びができるので、ボランティアの野外活動など万が一のときに役立てば」と話しました。

全国制覇の夢を拳に乗せて 正進館空手道場所属選手が全国大会へ

2/17



正進館空手道場に所属する福島葉七さん(中央中学校1年生)が全国中学生空手道選抜大会の組手競技女子の部へ、宇都宮大珠さん(北九州工業高等専門学校1年生・伊田中学校卒業)が全国高等学校空手道選抜大会男子個人形の部へ出場を決めました。2人は「優勝目指して全力を尽くします」と声を揃えました。